

葬祭事業

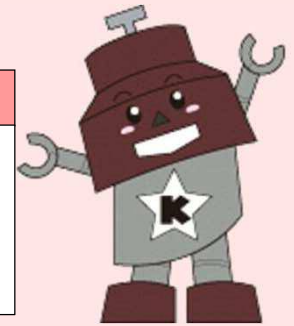
目 次

1	外部評価事業内容説明シート	1
2	実施計画事業評価調書	2
3	葬祭事業の直近3ヵ年の補助金交付実績	3
4	類似事業を実施している県内8市との比較	4
5	参考資料	
	(1) 川口市葬祭事業実施要綱	5
	(2) 川口市葬祭事業補助金交付要綱	19
6	葬祭事業のご案内（クリアファイル内）	

外部評価 事業内容説明シート（葬祭事業）

どのような事業ですか

対象（誰が誰のために）	目的（何のために）	内容（何をするのか）
葬儀を行う市民等	葬儀費用の負担軽減	市が定めた仕様の葬儀で、登録葬祭業者が葬儀を実施し、市は葬儀に要する経費の一部を負担する。



この事業を行った結果はどのようなものですか

事業費（どのくらいの税金が使われていますか）

令和元年度	決算額	17,480千円
令和2年度	決算額	17,360千円

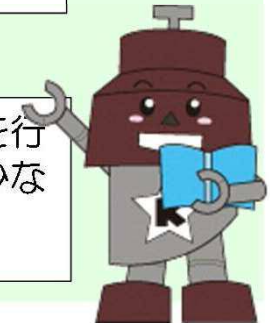


どのような成果がありましたか

葬祭業者から様々なサービスが提供される中、市により必要最低限の内容のパッケージを市民へ提示し、同時に葬儀費用の負担を軽減させることができた。

どのような課題がありますか

登録葬祭事業者を通じて利用者は手続を行う為、市民の意見等を直接聴く機会が少なく、市民のニーズ把握ができていない。



実績

令和元年度	合計	520件
基本仕様1	適用件数	354件
基本仕様2	適用件数	166件
令和2年度	合計	534件
基本仕様1	適用件数	334件
基本仕様2	適用件数	200件

課題に対し、これまでどのような見直しを行いましたか また、今後どのように解決していきますか

平成30年度に制度の見直しを行った。
これまでは、年に一回程度登録葬祭業者との意見交換の場を設け、葬祭業者へ疑義に対する回答を行い、想定していなかったケース等を整理しながら、制度の適正な運用の周知に努めた。今後は市民からの意見を聴く方法を検討する。

2 実施計画事業評価調書

実施計画事業評価調書

評価対象年度	2年度
--------	-----

事業コード	14101001	事業名称	葬祭事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	保健総務課	問い合わせ先	229-3199	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	26	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” — 4 誰もが安心して生活できる環境づくり — ① 誰もが安心して生活できる仕組みや環境づくり					
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口市葬祭事業実施要綱、川口市葬祭事業補助金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	・葬儀を行う市民等 ・登録葬祭業者	葬儀を行う市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	市民の葬儀費用の負担軽減を図り、市民福祉の向上に寄与する。	・葬儀を行うに当たって必要となる最小限の内容を市が基本仕様として定め、登録葬祭業者が葬儀を実施する。 ・市が登録葬祭業者に対し補助金を交付し、葬儀に要する経費の一部を負担する。	
2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	葬祭事業の適用を受けて行った葬儀に対し、補助金を交付した。	項目	実績
		基本仕様1適用件数	334 件
	基本仕様2適用件数	200 件	
事業の成果【定性的評価】	市民の葬儀費用の負担を軽減させることができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	葬祭事業利用件数			指標・目標値の説明(算定式)	目標設定がなじまない事業であるため実績のみとする。				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	403	—	520	—	534				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	03目	002細目	01細々目	葬祭事業			
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
予算額(A)	16,690	18,530	20,030	21,030	21,030					
決算額(B)=(C)+(D)	13,068	17,480	17,360							
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0					
	一般財源(D)	13,068	17,480	17,360	21,030					
概算人件費(E)	3,318	3,318	3,318	3,318	3,318					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.42	0.00	0.42	0.00	0.42	0.00	0.42	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	16,386	20,798	20,678	24,348	24,348					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	多様化する葬儀のニーズに対応するため、登録葬祭業者との意見交換などにより、内容の改善を図る。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

3 葬祭事業の直近3ヵ年の補助金交付実績

葬祭事業直近3ヵ年の補助金交付実績

	仕様1	仕様2	合計	
			件数	金額
平成30年度	249件	154件	403件	13,040,000円
令和元年度	354件	166件	520件	17,480,000円
令和2年度	334件	200件	534件	17,360,000円

類似事業を実施している県内8市との比較

※各市ホームページから抜粋したもの。川口市と比較し、○印：同等 △印：一部不足 ×印：不足

		川口市	蕨市	草加市	朝霞市	志木市	和光市	入間市	狭山市	新座市	
名称		葬祭事業	市民葬	市民福祉葬	市民葬儀	市民葬	市民葬儀	市営葬	規格葬儀	市民葬	
制度の概要		市が仕様を定め、葬祭費用の一部を利用者が直接葬儀社に払う。							市が仕様を定め、葬祭費用の全部を利用者が直接葬儀社に払う。		
仕様に含まれる内容	祭壇及び通夜告別式等に必要の用具	○	△	○	○	○	○	○	○	△	
	遺体安置及び棺の提供	○	△	△	△	△	△	△	△	△	
	霊きゅう自動車または寝台車による遺体の搬送	○	○	○	○	○	○	×	×	○	
	火葬に必要な用具の提供	○	○	○	○	○	○	×	○	×	
	その他付属品	○	×	×	△	別途単価設定	別途単価設定	△	△	×	
利用者負担額	最も高い仕様(税込)	231,000円 (仕様1)	166,160円	50,000円	231,000円	245,260円	205,500円	50,000円	220,000円	260,570円	
	最も安い仕様(税込)	143,000円 (仕様2)	35,660円	50,000円	111,200円	152,860円	126,410円	28,000円	99,000円	103,270円	
市負担額		40,000円 又は 20,000円	63,000円 又は 100,000円	葬儀費用から5万円を差し引いた額(上限有)	20,000円 又は 10,000円	40,000円	40,000円	30,000円 又は 22,000円	なし		

(参考)

民間業者におけるサービスは、業者により内容が大きく異なることから、現行の川口市葬祭事業の制度設計時には、上記表の他自治体の類似事業を参考としたもの。なお、川口市葬祭事業登録業者のホームページを確認したところ、一部の業者のページで市葬祭事業と方向性が近いプランが紹介されており、仕様1に近いプランは363,000円(19社平均)、仕様2に近いプランは139,000円(13社平均)となっていた。

5 参考資料

(1) 川口市葬祭事業実施要綱

川口市葬祭事業実施要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、市民等が葬儀を行うに当たり、その経費の軽減を図ることにより、市民福祉の向上に寄与するため、川口市葬祭事業（以下「葬祭事業」という。）の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。

(事業)

第2条 市は、葬祭事業として、市民等が葬儀を行うに当たって必要となる最小限の内容を、基本仕様として統一的に定めるとともに、葬儀に要する経費の一部を負担するものとする。

(基本仕様及び費用)

第3条 葬祭事業における葬儀の基本仕様は、次の各号に掲げる事項のうち、その全てを満たすもの（以下「仕様1」という。）又は第2号から第6号までを満たすもの（以下「仕様2」という。）とする。

- (1) 祭壇及び通夜、告別式等に必要な用具の提供
- (2) 遺体安置及び棺の提供
- (3) 霊きゅう自動車又は寝台車による遺体の搬送（仕様1においては、通夜及び告別式又はこれに類するものを実施した場所から火葬場まで、仕様2においては、遺体安置場所から火葬場まで）
- (4) 火葬に必要な用具の提供
- (5) その他付属品の提供
- (6) 前5号の実施に当たって必要となる作業一式

2 前項第1号から第5号に掲げるものの内訳及び単位は、別表のとおりとする。

3 基本仕様の費用（消費税及び地方消費税を含まない。以下同じ。）は、仕様1については210,000円とし、仕様2については130,000円とする。

4 第2項の規定にかかわらず、葬祭事業の適用を受けようとする者（以下「申請者」という。）の希望により、別表に掲げる基本仕様の内訳及び単位の一部を変更した場合であっても、その変更が基本仕様の内訳及び単位に準じた必要最小限のものであり、かつ、前項に規定する費用と同額で葬儀を行う場合は、葬祭事業

の適用を受けるものとする。

(適用)

第4条 葬祭事業の適用を受けることができる者は、申請者又は死亡した者が住民基本台帳法（昭和42年法律第81号）に基づく市の住民基本台帳に記録されている場合で、かつ、次に掲げる要件を満たす葬儀を行おうとする者とする。

- (1) 仕様1又は仕様2のいずれかを選択して使用すること。
- (2) 川口市めぐりの森で火葬を行うこと。
- (3) 仕様1においては、通夜及び告別式又はこれに類するものを行うこと。

2 生活保護法（昭和25年法律第144号）第18条の規定による葬祭扶助を受けて行う葬儀については、葬祭事業を適用しないものとする。

(市の負担)

第5条 葬祭事業における市の負担額は、仕様1については1件につき40,000円とし、仕様2については1件につき20,000円とする。

(登録業者)

第6条 葬祭事業の業務は、市内において葬儀を取り扱うことを業としているもののうち、市長の登録を受けたもの（以下「登録業者」という。）に行わせるものとする。

(登録業者の資格要件)

第7条 登録業者は、次に掲げる資格要件を備えていなければならない。

- (1) 川口市物品入札（見積）参加登録業者であること。
- (2) 市内に住所（法人にあっては営業所）があり、事務所としての機能を有していること。
- (3) 市内において3年以上の営業実績があること。
- (4) 葬儀のための備品及び設備を所有していること。
- (5) 貨物自動車運送事業法（平成元年法律第83号）第3条に規定する国土交通大臣の一般貨物自動車運送事業の許可を有し、又は当該許可を有する者と霊きゅう自動車若しくは寝台車の運行に係る委託契約等を締結していること。
- (6) 非正規雇用を除き、常時使用する従業員が3人以上いること。
- (7) 市税等を完納していること。

(8) 関係法令及びその他法令を遵守していること。

(登録の申請)

第8条 第6条に規定する市長の登録（以下「登録」という。）を受けようとするものは、毎年1月4日から同月末日までに、様式第1号の登録申請書により、市長に申請しなければならない。

2 前項の申請書には、市長が必要と認める書類を添付しなければならない。

(登録の更新)

第9条 登録業者が、第11条に規定する登録期間満了後も、引き続き登録業者として登録を受けようとするときは、毎年1月4日から同月末日までに、様式第2号の登録更新申請書により、市長に申請しなければならない。

2 前項の申請書には、市長が必要と認める書類を添付しなければならない。

(登録の決定等)

第10条 市長は、前2条に規定する申請を受けたときは、必要な審査及び調査を行い、登録業者として適格であると認めるときは、様式第3号の登録決定通知書により通知し、不適格であると認めるときは、書面でその旨を通知するものとする。

(登録の期間)

第11条 登録業者としての登録の期間は、4月1日から翌年3月31日までとする。

(登録の変更)

第12条 登録業者は、第8条第1項に規定する登録申請書又は第9条第1項に規定する登録更新申請書に記載した内容に変更があったときは、様式第4号の登録変更届により、速やかに市長に届け出なければならない。

2 前項の届出には、市長が必要と認める書類を添付しなければならない。

(登録の取消し)

第13条 市長は、次の各号の一に該当すると認めるときは、登録を取り消すことができる。

(1) 第7条に規定する資格要件を欠いたとき。

(2) 第8条に規定する登録申請、第9条に規定する登録更新申請及び第12条に

規定する登録変更届出に係る事項に虚偽があったことが判明したとき。

(3) 正当な理由なく葬祭事業の業務を履行しないとき。

(4) 業務の履行に際し、市の指揮監督に従わず、又はその職務を妨害したとき。

(5) 申請者又は市民の信用を著しく失墜させる行為があったとき。

(6) 登録業者から、休業、廃業、転業その他登録業者として葬祭事業の業務を行うことが困難な状況になった旨の申出があったとき。

(7) 前6号に掲げるもののほか、登録業者として適当でないと認めたとき。

2 市長は、前項第1号から第5号及び第7号のいずれかを理由として登録を取り消そうとするときは、当該登録業者に対し、あらかじめ弁明の機会を付与しなければならない。

(登録業者の責務)

第14条 登録業者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 申請者に対して、葬祭事業における葬儀の基本仕様及びその費用に加え、登録業者が個別に提供する内容についても、その費用を明示した上で十分な説明を行い、葬儀の内容及び費用に関して申請者が疑義を持つことがないように努めること。

(2) 遺族等の心情に最大限配慮し、その要望に忠実に応えること。

(3) 業務の履行に際しては、遺族及び市民等の不信や誤解を招くことのないよう、誠実に対応すること。また、苦情等があったときは速やかな解決に努めるとともに、その内容を市に報告すること。

(4) 川口市めぐりの森の利用に当たっては、川口市火葬場設置及び管理条例（平成29年条例第11号）を遵守すること。

(5) その他、業務の履行に関する市職員の指示に従うこと。

(適用の申請)

第15条 申請者は、様式第5号の適用申請書を、葬儀を取り扱う登録業者を經由して市長に提出しなければならない。

(適用の承認)

第16条 市長は、前条の規定による適用の申請を承認するときは、様式第6号の適用承認書を、当該申請者に交付するものとする。

(申請の取りやめ)

第17条 申請者は、第16条の承認を受けた葬儀を取りやめるときは、様式第7号の取りやめ届を、葬儀を取り扱う登録業者を経由して市長に提出しなければならない。

(完了報告書)

第18条 登録業者は、葬祭事業の適用を受けた葬儀が終了したときは、様式第8号の完了報告書を、速やかに市長に提出しなければならない。

(費用の支払い及び補助金の交付)

第19条 申請者は、第3条第1項に規定する基本仕様のうち、同条第3項に規定する適用を受けた仕様の費用を、葬儀を取り扱う登録業者に支払わなければならない。

2 市は、前条に規定する完了報告書により、葬儀が適正に行われたことを確認したときは、第5条に規定する市の負担額を、補助金として当該登録業者に交付するものとする。

(調査及び指導)

第20条 市長は、葬祭事業の適正な実施を確保するため必要があると認めるときは、登録業者に対し、調査及び指導を行うことができる。

(補則)

第21条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

この要綱は、令和3年4月1日から施行する。

別表(第3条関係)

葬儀の基本仕様の内訳及び単位

事 項	内 訳	単 位
祭壇及び通夜、告別式等に必要用具の提供	白木祭壇又は生花祭壇(後幕及び棺台を含む) (※1)	1基

	祭壇用供物（盛菓子）（※2）	1 対
	焼香用具（焼香用香炉、抹香、香炭及び焼香机）	一式
	小物（会葬帳、香典帳、供花帳及び筆記用具）	一式
	後飾（祭壇、線香用香炉、蠟台及び鈴）	一式
遺体安置及び棺の提供	遺体安置（※3）	2 日
	棺（木棺又は布棺）	1 基
	棺付属品（内装、防水紙、かたびら、布団、数珠、杖、笠、足袋及び草履）	一式
霊きゅう自動車又は寝台車による遺体の搬送	普通車バン型、ワンボックス型又は洋型（※4）	1 台
火葬に必要な用具の提供	骨箱及び骨つぼ（白つぼ）（※5）	一式
その他付属品の提供	白木仮位牌	1 基
	枕飾り（枕机、線香用香炉、蠟台及び鈴）	一式
	線香	1 箱
	ろうそく	1 箱

※1 横幅1.5メートル以上で、かつ、白木祭壇については3段飾り以上、生花祭壇については1段飾り以上又はこれと同等程度のものとする。

※2 砂糖菓子若しくは落雁又はこれと同等程度のものとする。

※3 保冷施設又はドライアイスによる安置とする。

※4 川口市めぐりの森に乗り入れ可能な車種とする。

※5 川口市めぐりの森で販売する骨箱及び骨つぼとする。

川口市葬祭事業業者登録申請書

年 月 日

(あて先) 川口市長

所 在 地

商号又は名称

代表者氏名

電 話 番 号

川口市葬祭事業実施要綱第6条に規定される登録を受けたいので、同要綱第8条の規定により、下記の書類を添えて申請いたします。

なお、葬祭事業の実施に当たっては、同要綱を遵守するとともに、本登録申請書及び添付書類のすべての記載事項は、事実と相違ないことを誓約いたします。

記

- 1 川口市物品入札（見積）参加資格審査申請書受付票の写し
- 2 登記事項証明書（履歴事項全部証明書）又は個人事業の開廃業届出済証明書
- 3 営業経歴書
- 4 所有する備品及び設備の内訳
- 5 一般貨物自動車運送事業の許可書の写し又は霊きゅう自動車若しくは寝台車の運行に係る委託契約等の書類の写し
- 6 従業員名簿及び雇用保険被保険者証の写し
直近の労働保険概算・確定保険料申告書及び納付書の写し
健康保険証の写し
- 7 直近の納税証明書（法人税及び法人市民税又は個人事業税）
- 8 その他市長が必要と認める書類

川口市葬祭事業業者登録更新申請書

年 月 日

(あて先) 川口市長

所在地

商号又は名称

代表者氏名

電話番号

川口市葬祭事業実施要綱第6条に規定される登録について、その更新を受けたいので、同要綱第9条の規定により、下記の書類を添えて申請いたします。

なお、葬祭事業の実施に当たっては、同要綱を遵守するとともに、本登録更新申請書及び添付書類のすべての記載事項は、事実と相違ないことを誓約いたします。

記

- 1 川口市物品入札（見積）参加資格審査申請書受付票の写し
- 2 登記事項証明書（履歴事項全部証明書）又は個人事業の開廃業届出済証明書
- 3 営業経歴書
- 4 所有する備品及び設備の内訳
- 5 一般貨物自動車運送事業の許可書の写し又は霊きゅう自動車若しくは寝台車の運行に係る委託契約等の書類の写し
- 6 従業員名簿及び雇用保険被保険者証の写し
直近の労働保険概算・確定保険料申告書及び納付書の写し
健康保険証の写し
- 7 直近の納税証明書（法人税及び法人市民税又は個人事業税）
- 8 その他市長が必要と認める書類

様式第3号

川口市葬祭事業業者登録（更新）決定通知書

年 月 日

（商号又は名称）

（代表者氏名） 様

川口市長

印

先に申請のあった川口市葬祭事業業者登録（の更新）については、次のとおり登録（更新）することに決定しましたので、川口市葬祭事業実施要綱第10条の規定により通知します。

所在地	
商号又は名称	
代表者氏名	
登録期間	

様式第4号

川口市葬祭事業業者登録変更届

年 月 日

(あて先) 川口市長

所在地

商号又は名称

代表者氏名

電話番号

先に提出した川口市葬祭事業業者登録（更新）申請書の記載事項に下記のとおり変更がありましたので、川口市葬祭事業実施要綱第12条の規定により、関係書類を添えて届け出ます。

届出事項	変更前	変更後	変更年月日

川口市葬祭事業適用申請書

申請日 年 月 日

(あて先) 川口市長

下記のとおり川口市葬祭事業の適用を申請します。

No. _____

申請者 (施主)	住所				
	氏名				
	電話番号				
死亡者	住所				
	氏名				
	生年月日	年	月	日	性別 男 女
	死亡日時	年	月	日	時 分
取扱業者					
基本仕様		仕様 1		仕様 2	
葬儀の内容					
遺体安置場所					
通夜、告 別式等の 日時・場 所	通夜	年	月	日	時 分
	告別式	年	月	日	時 分
	場所				
川口市めぐりの森予約日時		年	月	日	時 分
基本仕様の変更		有		無	
変更内容とその理由					

川口市葬祭事業適用承認書

申請日 年 月 日

No. _____

申請者 (施主)	住所			
	氏名			
	電話番号			
死亡者	住所			
	氏名			
	生年月日	年 月 日	性別	男 女
	死亡日時	年 月 日	時 分	
取扱業者				
基本仕様		仕様 1	仕様 2	

上記により申請のあった川口市葬祭事業の適用について承認します。

承認日 年 月 日

川口市長

印

様式第7号

川口市葬祭事業取りやめ届

年 月 日

(あて先) 川口市長

川口市葬祭事業の適用を受けた葬儀を取りやめましたので届け出ます。

承認日	年 月 日	承認番号	
申請者(施主)氏名			
死亡者氏名			
取扱業者			
基本仕様	仕様1	仕様2	
取りやめ理由			

川口市葬祭事業完了報告書

年 月 日

(あて先) 川口市長

川口市葬祭事業の適用を受けた葬儀について、下記のとおり完了したことを報告します。

承認日	年 月 日	承認番号	
申請者（施主）氏名			
死亡者氏名			
取扱業者			
基本仕様	仕様 1	仕様 2	

<葬儀の内容>

申請書のとおり実施

以下のとおり変更のうえ実施（変更箇所のみ記入）

遺体安置場所		
通夜、告別式等の日時・場所	通夜	年 月 日 時 分
	告別式	年 月 日 時 分
	場所	
川口市めぐりの森火葬日時		年 月 日 時 分
基本仕様の変更		有 無
変更内容とその理由		

(2) 川口市葬祭事業補助金交付要綱

川口市葬祭事業補助金交付要綱

(目的)

第1条 この要綱は、市民等が葬儀を行うために要する経費にかかる補助金の交付について、川口市補助金等交付規則（昭和50年規則第24号）に定めるもののほか、この要綱に定めることにより、市民福祉の向上に寄与することを目的とする。

(定義)

第2条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

(1) 葬儀 川口市葬祭事業実施要綱（以下「実施要綱」という。）に基づき、市民等が川口市葬祭事業の適用を受けて行った葬儀をいう。

(2) 補助事業者 実施要綱第6条に規定する登録業者をいう。

(補助対象者)

第3条 補助金の交付の対象となるものは、補助事業者のうち、葬儀を取り扱ったものとする。

(補助金の額)

第4条 補助金の額は、実施要綱第5条に規定する額とし、予算の範囲内で交付するものとする。

(申請手続)

第5条 補助金の交付を受けようとする補助事業者は、取り扱った葬儀の件数を実施要綱第16条に規定する適用承認書が交付された月毎に取りまとめた上で、様式第1号の交付申請書を、翌月10日までに市長に提出しなければならない。

2 前項の申請書には、市長が必要と認める書類を添付しなければならない。

(交付決定)

第6条 市長は、前条に規定する申請があったときは、当該申請に係る書類の内容を審査し、補助金を交付すべきものと認めたときは、速やかに交付の決定をし、様式第2号の交付決定通知書により通知し、補助金を交付するものとする。

(交付の決定の取消し及び返還請求)

第7条 市長は、補助事業者が偽りその他不正な手段により補助金の支払いを受けたことが判明したときは、補助金の交付の決定を取消し、当該補助金を返還させることができる。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

この要綱は、令和3年4月1日から施行する。

様式第1号

川口市葬祭事業補助金交付申請書兼請求書

年 月 日

(あて先) 川口市長

申請者兼請求者

所在地

商号又は名称

代表者氏名

川口市葬祭事業補助金交付要綱第5条の規定により、次のとおり申請及び請求します。

- 1 対象期間 _____年 _____月分
- 2 取扱件数 仕様1 _____件 仕様2 _____件
- 3 申請・請求金額 _____円

様式第 2 号

川口市葬祭事業補助金交付決定通知書

指令保第 号

商号又は名称

代表者氏名 様

年 月 日付で申請のあった川口市葬祭事業補助金については、次のとおり決定したので、川口市葬祭事業補助金交付要綱第 6 条の規定により通知します。

年 月 日

川口市長 印

- 1 交付対象期間
- 2 交 付 金 額
- 3 交付予定時期

海浜学園施設運営費
少年自然の家施設運営費

目 次

1	外部評価事業内容説明シート	1
2	実施計画事業評価調書	2
3	施設ごとのランニングコスト計算書（過去3か年実績）	4
4	今後40年の保全計画（費用額）	6
5	大貫海浜学園校外教育日程・実績	7
6	大貫海浜学園校外教育主な活動内容等	9
7	大貫海浜学園校外教育アンケート（令和元年度）	10
8	水上少年自然教室年間実施日程・実績	13
9	水上少年自然の家校外教育主な活動内容	15
10	水上少年自然の家校外教育報告（令和元年度・抜粋）	16
11	他市における類似施設の現況、校外学習の実施状況	18
12	リーフレット「川口市立大貫海浜学園」	
13	パンフレット「川口市立水上少年自然の家」	

外部評価 事業内容説明シート

どのような事業ですか

対象（誰が誰のために）

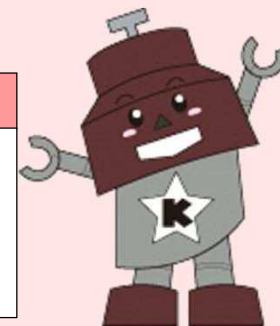
- ・水上少年自然の家
市立中学校26校の2年生
- ・大貫海浜学園
市立小学校52校の5年生

目的（何のために）

豊かな自然環境の中で規律ある集団生活を通し、社会性及び道徳性を高め、実践力と自主的で自律的態度を養うことを目的とする。

内容（何をするのか）

教育活動の一環として、5月から11月までの期間に、2泊3日の校外教育を実施するもの。
※令和3年度は新型コロナウイルスの影響により日帰りを実施予定。



この事業を行った結果はどのようなものですか

事業費（どのくらいの税金が使われていますか）

- ・水上少年自然の家
令和元年度 143,151千円
令和2年度 20,224千円
- ・大貫海浜学園
令和元年度 77,793千円
令和2年度 12,640千円

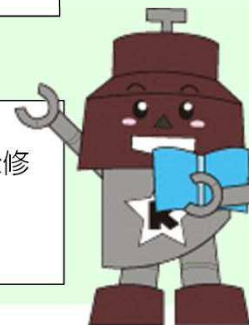


どのような成果がありましたか

児童生徒の社会性及び道徳性の向上、及び実践力と自主的で自律的態度の成長。

どのような課題がありますか

- ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う実施方法。
- ・両施設ともに、設備や施設の老朽化に伴う計画的な修繕や改修。



実績

別紙、日程表_実績のとおり。

課題に対し、これまでどのような見直しを行いましたか また、今後どのように解決していきますか

- ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う実施方法については、児童生徒の安全を最優先しつつ、様々な実施方法を模索することにより可能な限り実施していく。
- ・施設や設備の老朽化に対しては、令和元年度に個別実施計画を策定した。今後は、両事業の在り方や耐用年数も含め、近い将来を見据え計画性をもって管理していく。

2 実施計画事業評価調書

実施計画事業評価調書

評価対象年度	2年度
--------	-----

事業コード	21101311	事業名称	海浜学園施設運営費	事業区分	通常事業
担当	学校教育部	学務課	問い合わせ先	258-1110(18711)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	15	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” — 1 子どもがのびのび学べる環境づくり — ① 幼稚園・小学校・中学校教育の充実					
根拠法令等	川口市立大貫海浜学園設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市立小学校52校の5年生	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	児童に海浜の自然の中で集団生活を経験させ、心身の調和的発達と個性の伸長を図るとともに、協力的実践的な生活態度と豊かな情操を養うことを目的とする。	小学校の教育活動の一環として、5月から11月までの期間(7・8月除く)に小学校5年生を対象に、市立大貫海浜学園で2泊3日の校外学習を実施するもの。	
2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	令和2年度は新型コロナウイルスの影響により校外学習を中止した。一方、児童が利用していない期間を有効に活用するため、非常用発電機及び非常用放送設備の改修工事、施設の点検及び修繕、備品の整備、並びに庭の整備などを積極的に行った。	項目	実績
		参加児童数	-
事業の成果【定性的評価】	新型コロナウイルスの影響により校外学習を中止したものの、児童が利用していない期間を有効に活用するため、施設の点検及び修繕、備品の整備等を積極的に行うことができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	02項	03目	001細目	01細々目	海浜学園施設運営費			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	73,098	66,150		19,939		75,337		75,337		
決算額(B)=(C)+(D)	65,029	65,153		18,430						
財源※	特定財源(C)	11,338	11,382		11,622		11,584			
	一般財源(D)	53,691	53,771		6,808		63,753			
概算人件費(E)	12,640	12,640		12,640		12,640		12,640		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.60	0.00	1.60	0.00	1.60	0.00	1.60	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	77,669	77,793		31,070		87,977		87,977		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	設備等が経年劣化などで改修が必要となっている。今後、施設の長寿命化を図るため、個別施設計画を参考にしつつ、施設・設備の更新を行っていく。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 2年度

事業コード	21101501	事業名称	少年自然の家施設運営費	事業区分	通常事業
担当	学校教育部	学務課	問い合わせ先	258-1110(18711)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 37 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 1 子どもがのびのび学べる環境づくり - ① 幼稚園・小学校・中学校教育の充実
根拠法令等	川口市立水上少年自然の家設置及び管理条例・川口市立水上少年自然の家設置及び管理条例施行規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市立中学校26校の2年生	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	豊かな自然環境の中で、心身ともに健全な少年の育成を図ることを目的とするもの。	中学校の教育活動の一環として、5月から11月までの期間に中学校2年生を対象に、市立水上少年自然の家で2泊3日の校外学習を実施するもの。 また、中学校の校外学習で利用しない冬期は、市民等を対象に一般利用を行っているもの。	
2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	令和2年度は新型コロナウイルスの影響により校外学習及び一般開放を中止した。一方、児童が利用していない期間を有効に活用するため、ボイラーの改修工事、施設の点検及び修繕、備品の整備、並びに庭の整備などを積極的に行った。	項目	実績
		参加生徒数	- 人
事業の成果【定性的評価】	新型コロナウイルスの影響により校外学習及び一般開放を中止したものの、児童が利用していない期間を有効に活用するため、施設の点検及び修繕、備品の整備等を積極的に行うことができた。	一般開放利用者数(延泊数)	- 泊

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	03項	03目	001細目	01細々目	少年自然の家施設運営費	
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	131,458	130,186	73,029	136,077	136,077			
決算額(B)=(C)+(D)	124,955	122,927	65,447					
財源※	特定財源(C)	12,159	12,040	13,213	12,319			
	一般財源(D)	112,796	110,887	52,234	123,758			
概算人件費(E)	20,224	20,224	20,224	20,224	20,224			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.56	0.00	2.56	0.00	2.56	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	145,179	143,151	85,671	156,301	156,301			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	設備等が経年劣化などで改修が必要となっている。今後、施設の長寿命化を図るため、個別施設計画を参考にしつつ、施設・設備の更新を行っていく。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

3 施設ごとのランニングコスト計算書（過去3か年実績）

施設名称	大貫海浜学園
------	--------

1 施設概要 ※ リーフレット・パンフレット・ホームページの写し 参照

2 収支状況 (単位：円)

項目	金額（決算額）		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度（見込）
コスト (A)+(B)	84,224,650	103,738,495	83,618,610
ランニングコスト(A)	84,224,650	96,287,095	61,911,210
大規模修繕費(B)	0	7,451,400	21,707,400
収入 (C)=(D)+(E)+(F)	11,337,590	11,381,700	0
使用料(D)	11,337,590	11,381,700	0
国県補助金等(E)	0	0	0
その他収入(F)	0	0	0
市費負担額 (G)=(A)-(C)	72,887,060	84,905,395	61,911,210
市費負担割合 (G)/(A)	86.54%	88.18%	100.00%
利用者負担割合 (D)/(A)	13.46%	11.82%	0.00%

3 施設利用状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度（見込）
開館日数(A)	77日	75日	0日
年間利用日数(B)	77日	75日	0日
休館・メンテナンス休館日数(C)	288日	291日	365日
利用率 (B)/(A)	100.00%	100.00%	#DIV/0!
年間施設稼働率 (B)/365日	21.10%	20.55%	0.00%
開館日1日あたりのランニングコスト	1,093,827	1,283,828	#DIV/0!
開館日1日あたりの使用料収入	147,241	151,756	#DIV/0!

4 利用者の状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度（見込）
利用者数 (A)=(B)+(C)	5,369人	5,414人	0人
校外学習等利用者(B)	5,369人	5,414人	0人
一般利用者(C)	0人	0人	0人
利用者1人あたりのランニングコスト	15,687	17,785	#DIV/0!
利用者1人あたりの市費負担額	13,576	17,059	#DIV/0!

4 備考

--	--

施設名称	水上少年自然の家
------	----------

1 施設概要 ※ リーフレット・パンフレット・ホームページの写し 参照

2 収支状況 (単位：円)

項目	金額（決算額）		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度（見込）
コスト (A)+(B)	209,528,357	235,526,570	147,207,235
ランニングコスト(A)	181,880,357	195,478,870	125,047,735
大規模修繕費(B)	27,648,000	40,047,700	22,159,500
収入 (C)=(D)+(E)+(F)	12,158,900	12,039,080	0
使用料等(D)	12,158,900	12,039,080	0
国県補助金等(E)	0	0	0
その他収入(F)	0	0	0
市費負担額 (G)=(A)-(C)	169,721,457	183,439,790	125,047,735
市費負担割合 (G)/(A)	93.31%	93.84%	100.00%
利用者負担割合 (D)/(A)	6.69%	6.16%	0.00%

3 施設利用状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度（見込）
開館日数(A)	118日	126日	0日
年間利用日数(B)	117日	123日	0日
休館・メンテナンス休館日数(C)	247日	240日	365日
利用率 (B)/(A)	99.15%	97.62%	#DIV/0!
年間施設稼働率 (B)/365日	32.05%	33.70%	0.00%
開館日1日あたりのランニングコスト	1,541,359	1,551,420	#DIV/0!
開館日1日あたりの使用料収入	103,042	95,548	#DIV/0!

4 利用者の状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度（見込）
利用者数 (A)=(B)+(C)	5,777人	5,380人	0人
校外学習等利用者(B)	4,790人	4,601人	0人
一般利用者(C)	987人	779人	0人
利用者1人あたりのランニングコスト	31,484	36,334	#DIV/0!
利用者1人あたりの市費負担額	34,165	41,540	#DIV/0!

4 備考

--

4 今後40年の保全計画（費用額）

施設名			大貫海浜学園					水上自然の家					計	
築年数			38					28						
65年到達残年数			27					37						
健全度 (A～D評価)			C					C						
対策内容			長寿命化 (65年)					長寿命化 (65年)						
改修部位			屋上・屋根	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	屋上・屋根	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備		
劣化状況			B	C	D	C	C	D	B	B	B			
今後40年間の保全計画（費用額） 【単位 百万円】	1	R3	2021	856					796					1,652
	2	R4	2022						591					591
	3	R5	2023	20										20
	4	R6	2024											
	5	R7	2025											
	6	R8	2026	210					31					241
	7	R9	2027											
	8	R10	2028											
	9	R11	2029											
	10	R12	2030	83										83
	11	R13	2031											
	12	R14	2032											
	13	R15	2033						96					96
	14	R16	2034											
	15	R17	2035											
	16	R18	2036											
	17	R19	2037											
	18	R20	2038											
	19	R21	2039											
	20	R22	2040											
	21	R23	2041						1,002					1,002
	22	R24	2042											
	23	R25	2043											
	24	R26	2044											
	25	R27	2045											
	26	R28	2046						125					125
	27	R29	2047	建替										
	28	R30	2048						96					96
	29	R31	2049											
	30	R32	2050											
	31	R33	2051						332					332
	32	R34	2052						385					385
	33	R35	2053											
	34	R36	2054											
	35	R37	2055											
	36	R38	2056											
	37	R39	2057						建替					
	38	R40	2058											
	39	R41	2059											
	40	R42	2060											
	計			1,170					3,455					4,625

※ 個別施設計画より抜粋

5 大貫海浜学園校外教育日程・実績

令和元年度大貫海浜学園校外教育日程・実績

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
4月																														
4台																														
バス																								2	2					
5月																														
40台																														
バス																														
6月																														
60台																														
バス																														
7月																														
0台																														
バス																														
8月																														
0台																														
バス																														
9月																														
25台																														
バス																														
10月																														
51台																														
バス																														
11月																														
29台																														
バス																														

前期計 2582

後期計 2832
合計 5414

6 大貫海浜学園校外教育主な活動内容等

1. 主な活動内容（実施校数／全52校）

- 東京湾観音ハイク (33)
- 富津岬方面ハイク (1)
- 磯根海岸ハイク (16)
- 弁天山古墳見学 (49)
- 海苔づくり体験 (1)
- 海岸散策・貝拾い等 (53)
- 砂の芸術・ビーチレク (13)
- 富津公園 (6)
- 星座観察 (19)
- 花火 (2)
- 家庭へ手紙 (38)
- 交流会 (35)
- 室内レク (23)
- ビデオ鑑賞 (1)
- 大貫紹介 (39)
- 海岸清掃 (6)
- キャンドルフアイヤー (53)
- 避難訓練 (53)

※ 特別支援学級合同1隊含む

2. 病気・怪我等報告（延べ件数）

- 発病（発熱・嘔吐・腹痛・喘息・不快・頭痛・貧血）(48)
- 怪我（捻挫・打撲・怪我（歯）・虫刺され）(9)
- 退園 (8)

学校アンケートより (令和元年度)

施設・設備面	活動内容	食事・その他
<p>よかった</p> <p>1 清掃が行き届き、施設は古いがこまめに修繕されていて快適に過ごすことができた</p> <p>2 園庭がきれいに整備されていた</p> <p>3 十分なスペースがあってよい。</p> <p>4 冷風機が重宝した</p> <p>5 掃除用具の数が十分あった</p> <p>6 タオル掛けの角ハンガーが有難かった</p> <p>7 掲示物が充実していた。富津の方言の掲示物がよい</p> <p>8 キャンドルのトーチにロウソクがしっかり付けられた</p> <p>9 冷たい麦茶が飲めてうれしかった</p> <p>10 古い施設を大切に使うという意味で意義あるものである</p> <p>11 これまで市内の多くの小学生が大切に使用してきた学園は貴重であり、継続をお願いしたい</p>	<p>1 砂の造形、ハイキング、貝拾い等、大貫の自然を生かした活動ができ充実したよい経験になった</p> <p>2 天候や潮の干満などにより変更を適切に助言してもらい、安心してスムーズに取り組めた</p> <p>3 大貫の紹介は好評であった。よい学習になった</p> <p>4 2日目のハイキングは、暑さのため弁天山古墳・磯根海岸までとしたのはよかった</p> <p>5 具体的に活動をアドバイスしてもらい、助けられた</p> <p>6 1日目の入浴を夕食後としたことで、海岸散策の時間を多く取れてよかった</p> <p>7 体調不良者の対応も細かくしてもらい、児童にいい思い出ができた</p> <p>8 キャンドルファイヤーや交流会は児童同士、他校の児童と友情を深められ素晴らしい活動となった</p> <p>9 自然相手であり、学園の方々の力が大きいと感じる</p> <p>10 学校独自のプログラムも可能であり、よかった</p> <p>11 水を注文しておいてよかった</p> <p>12 東京湾観音の見晴らし台の利用が有難かった</p> <p>13 ショートコースのハイキングを先導してもらい、有難かった</p> <p>14 大貫の景色を楽しむタイミングが大切であることを痛感した</p> <p>15 屋上で夕焼けに浮かぶ富士山を見ることができてよかった</p>	<p>1 おいしくいただくことができた</p> <p>2 よく食べた。おかわりもたくさんし、普段は残す児童もここでの食事は完食していた</p> <p>3 アレルギー対応が有難かった</p> <p>4 大貫の海の幸を堪能できた</p> <p>5 質・量ともに大変よい</p> <p>6 栄養のバランスにも気を使ってくれ、調理員に感謝する</p> <p>7 食事が楽しみと児童が言っていた</p> <p>8 アジフライが好評だった</p> <p>9 煮魚が好評だった。骨付きの魚は今後も続けてほしい</p> <p>10 うどんが好評だった</p> <p>11 はかりめご飯が好評だった</p> <p>12 コッパンがおいしく、児童にも好評だった</p> <p>13 おにぎりのたらこをやめてもらってよかった</p> <p>14 一品一品手をかけてつくってくれていることがよくわかる</p> <p>15 歯を怪我した児童のためにおかずを細かく切ってくれるなど個別対応をしてくれた</p> <p>16 2日目朝食がパン食で、後片付けも短時間で済みハイキング出発のため大変よい</p> <p>17 2日目のオレンジジュースがよかった</p> <p>18 2日目夕食のスイカは水分補給にとってもよく、体の熱をとってくれた</p> <p>19 スープの食器が扱いやすくなった</p> <p>20 配膳が効率よくできるようになった</p> <p>21 協力しての準備・片付けは学校と同じでよい活動になった</p> <p>22 はかりめとあらめの掲示物がよかった</p> <p>23 保護者が安心して送り出せる</p> <p>24 副園長がいつも児童に温かい声をかけてくれ有難かった</p> <p>25 学校を離れて集団行動を行う上で、規律の大切さを実感できる場であると感じた。</p> <p>26 他市では民間のホテル等の利用だったので、教員もたくさん学ぶことができた</p>

学校アンケートより（令和元年度）

施設・設備面	活動内容	食事・その他
<p>改善の余地あり</p> <p>1 エアコンの設置をお願いする。部屋にエアコンを設置してほしい</p> <p>2 エアコンを設置し夏季休業中に実施するなど、台風の影響を考えた対策を。</p> <p>3 網戸の穴をふさいでほしい</p> <p>4 窓や網戸の開閉がしにくい</p> <p>5 シャワーの温度調節に不具合がある</p> <p>6 浴室に脱衣かごがほしい</p> <p>7 児童用のシャンプー・ボディソープ・ロウソクが残り無駄になるので、学園で用意してほしい</p> <p>8 職員浴室に風呂のふたがあるとよい</p> <p>9 職員室に洗面所やトイレがほしい</p> <p>10 職員用トイレをウォッシュレット付きに。</p> <p>11 トイレの臭気が気になる</p> <p>12 トイレの洋式化を進めてほしい</p> <p>13 トイレに上ばきのまま履ける大きなスリッパを置いてほしい</p> <p>14 夜間にトイレのドアの音が響く</p> <p>15 海岸に出るところの階段が傷み、崩れてきている</p> <p>16 外の出入り口は、海側に扉がほしい</p> <p>17 タオル掛け場の足踏み台の数を増やしてほしい</p> <p>18 掃除用具がもっとほしい</p> <p>19 燭台を低くしてほしい</p> <p>20 キャンドルのトーチを新しいものにし、数を増やしてほしい</p> <p>21 枕カバーが小さい。シーツや枕カバーが新しくなるとよい</p> <p>22 やかんの麦茶が戻り回してテーブルがぬれるので更新してほしい</p> <p>23 AEDを増やしてほしい</p> <p>24 毛布がカバー内で片寄りしてしまい直すのが大変である</p> <p>25 ベッドの設置を希望する</p> <p>26 貝を置ける風雨が防げる専用のスペースがあるとよい</p> <p>27 ホワイトボードがあるとよい</p>	<p>1 バスで帰りに東京湾観音に行けるとよい</p> <p>2 AEDは必ず持っていくようにしたい</p> <p>3 磯根海岸コースも虫刺されの症状があり、長袖長ズボンの必要性を感じた</p> <p>4 東京湾観音への最新の地図があると安心である</p> <p>5 東京湾観音でのゴミを持って下山しない方法を確立できないか</p> <p>6 海辺という立地を生かした活動をさらに検討していきたい</p> <p>7 安全面に十分配慮して、魅力的な活動内容を検討していきたい</p> <p>8 水筒のお茶入れや昼食の取り方等をさらに検討して、活動をスムーズに進めたい</p> <p>9 大貫ならではの雨天時のプログラムがさらに充実できるとよい</p> <p>10 観音ハイキングにこだわらず、海岸散策を中心とした行程も選択肢に入れて計画するのがよい</p> <p>11 星座観察も活動内容に入れてみたい</p> <p>12 1日目の活動に工夫できる時間を取りたい</p> <p>13 夜間に水分補給ができるようにしてほしい</p>	<p>1 片付けを効率的に行うことで食事時間を長くとりたい。残りものも減る。</p> <p>2 お代わりは汁物が多く、ご飯が残ってしまった</p> <p>3 残してしまうのが申し訳ない</p> <p>4 1学期はまだ体が小さく食も細いので、少量が多かった</p> <p>5 冷水器のコップを水でゆすいで使用していることについて一考を。</p> <p>6 2日目朝食は、米食の方が腹持ちがよい</p> <p>7 2日目夕食は、うどんをもっとたくさん食べたかった</p> <p>8 肉めしの復活を希望する職員がいた</p> <p>9 ウインナーの成分から卵を除去したものを選択してほしい</p> <p>10 朝食の時間は、7時30分に変更してほしい</p> <p>11 水上に比べ全体的に改善の余地がある。地元食材にこだわる必要はない時代と考える。水上と施設どうしの交流を一度やってみるのがよい</p> <p>12 腫れを伴う虫刺されの報告があった。宿室ではないと思うが注意が必要だった</p>

学校アンケートより（令和元年度）

施設・設備面	活動内容	食事・その他
<p>28 現在使われていないシャワースペースの有効利用を。</p> <p>29 職員室を明るくしてほしい</p> <p>30 懐中電灯が暗くて役に立たない</p> <p>31 貝の標本を児童の動線上に展示してほしい</p> <p>32 壁面のひび割れが出てきている。施設の老朽化が進んでいる。全面的に建て替える検討をお願いしたい</p>		

8 水上少年自然教室年間実施日程・実績

令和元年度 水上自然教室年間実施日程・実績

平成31年3月8日

月	日																																
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
5月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金		
			憲法記念日	みどりの日	こどもの日	振替休日																											
6月	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
				芝東④		八幡木④																											
7月	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	芝西																																
8月	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		
9月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月			
10月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木		

通常学級(28) + 陽春分校(1) + 特別支援学級(1) + チャレンジ学級(1)

9 水上少年自然の家校外教育主な活動内容

1. 主な活動内容（実施校数／全26校）

- ウォークラリー (24)
- 周辺散策 (3)
- 館内めぐり (1)
- 室内レク (1)
- ドッジボール (2)
- ソフトバレーボール (1)
- ハイキング（一ノ倉沢） (21)
- ハイキング（天神平） (7)
- ハイキング（ベースプラザ） (1)
- ハイキング（湯檜曾公園） (1)
- ハイキング（清流公園） (27)
- 俳句・短歌づくり (12)
- 家族への感謝の手紙 (3)
- 班活動・係活動 (2)
- 写生（スケッチ）・川柳 (2)
- 色紙・メッセージカードづくり (2)
- 振り返りタイム・活動内容の発表 (2)
- 合唱練習 (2)
- ライフスキル (1)

※ 通常学級のうち2隊編成2校分、特別支援学級合同1隊、
チャレンジ学級1隊含む

（1）自然の家職員感想より（令和元年度）

生徒	先生
<p>1 指示されたことにしっかり返事ができ、静かにするときは誰一人しゃべらず、素晴らしいかった。</p> <p>2 友達同士で、行動の良し悪しを指摘し合っていた。</p> <p>3 服装や生活態度もよい印象だった。食事係の生徒もよくやっていて、早く用意ができた。</p> <p>4 挨拶や返事など規律正しく生活できていた。精神面からくる体調不良者が多かった。</p> <p>5 館内では落ち着いて過ごせていた。</p> <p>6 先生が大声を出すこともなく生徒は整然としていた。事前によく準備してきた様子が伺えた。</p> <p>7 先生が赤や青のカードを出だけで全員が静かになった。集団行動の決まりが徹底されていた。</p> <p>8 素直な生徒が多く、指摘したことに対してすぐに対応してくれた。</p> <p>9 生徒は素直で先生方の話をよく聞いて行動できる子が多かった。</p> <p>10 無言でしっかりと清掃を行っていた。話を聞く態度が良かった。</p> <p>11 挨拶はきちんとできていた。話す人の方を見て話を聞けていた。</p> <p>12 積極的に挨拶ができていた。話を聞く態度や作業中の態度も無言でできていた。</p> <p>13 落ち着きのない生徒もいたが、食事の準備や大掃除などまじめに取り組んでくれた。</p> <p>14 生徒はおとなしく、素直な印象だった。</p> <p>15 大掃除後の用具しまいが良かった。</p> <p>16 生徒が中心になって飲み物・弁当の配布を行っていた。集合・整列も班長中心によくできた。</p> <p>17 校歌もしっかり歌っていた。</p> <p>18 別隊より落ち着いていた気がする。</p> <p>19 先生方の話をよく聞き、落ち着いて行動できる生徒たちだった。</p> <p>20 話を聞く態度が良かった。元気もよく、中学生らしかった。</p> <p>21 先生の話をよく聞いて落ち着いて行動できる生徒が多かった。清掃にも一生懸命取り組んだ。</p> <p>22 返事や挨拶が積極的によくできていた。食事の準備や片付けなどが無言でできていた。</p> <p>23 生徒は素直で明るく行動もしっかりしていた。</p> <p>24 生徒は明るく元気だった。挨拶も相手の顔を見てきちんとしていた。</p> <p>25 人の話を聞く態度がとても良い。外出時はどの部屋も整理・整頓がよくできていた。</p> <p>26 生徒は明るくのびのびと生活していた。</p> <p>27 食事係の生徒は真面目に準備してくれた。先生の言うことも静かに聞いている様子だった。</p> <p>28 校歌を歌う声が初日より3日目の方が大きかった。一人一人が成長できたのではないと思う。</p> <p>29 落ち着きがあり食事の準備もスムーズにできた。挨拶もしっかりできていた。</p> <p>30 整列の際に班長がよく声を出していた。部屋の整理がよくできていた。</p> <p>31 初日は挨拶があまりできていなかったが、2日目以降挨拶ができる生徒が多くなったと思う。</p> <p>32 時間の面で、日を重ねるごとに自然教室の成果が感じられるようになった。</p> <p>33 生徒は先生の話をよく聞いて落ち着いて行動していた。</p> <p>34 校歌や返事が大きな声でできて力強い感じがした。集中して話を聞いていた。</p> <p>35 挨拶なども積極的にできていて、館内でも落ち着いて行動していた。</p> <p>36 指示されたことを素直に聞き入れて行動していた。</p> <p>37 生徒は落ち着いて行動でき日程は予定どおり進んだ。返事や挨拶は少し元気がなかった。</p> <p>38 清掃時にはきびきび動いてくれた。</p> <p>39 大掃除では隅々まできれいにやっていた。</p> <p>40 時間前行動が、比較的よくできていた。</p> <p>41 別隊よりもまとまりのある印象だった。時間も守り、人の話もよく聞けていた。</p> <p>42 別隊の生徒たちよりも、メリハリがあった。</p> <p>43 無駄なおしゃべりをせず、指示をしっかり聞いて行動し、挨拶もできる生徒が多い印象だった。</p> <p>44 トイレの整頓の確認表を作り、担当者を決めて記入させていた。</p> <p>45 準備や行動が早く、時間どおりに活動ができていた。素直な生徒が多い。</p> <p>46 先生に注意や指導を受ける生徒が少なく、落ち着いて行動していた。</p> <p>47 落ち着きがあり、静かな印象だった。清掃は無言でおしゃべりせずに行っていた。</p> <p>48 返事など、一人一人がしっかりとっていて、自然教室に真剣に取り組んでいるのが分かった。</p> <p>49 無言清掃や無言行動が徹底されていた。礼儀正しく、一人一人挨拶がしっかりできていた。</p> <p>50 校歌がしっかりと歌えて、食事も残さず食べて、素直で真面目な良い生徒だった。</p> <p>51 騒いだり、廊下を走ることがなかった。布団の整理や部屋の片づけがきちんとできていた。</p> <p>52 校歌もしっかり歌えて、挨拶もよくできていた。</p> <p>53 挨拶や返事が積極的にできていたと思う。落ち着きがあつて話を静かに聞くことができていた。</p> <p>54 礼儀正しく、落ち着いて行動していた。掃除も丁寧で、全体的に真面目によくできた。</p> <p>55 消灯時刻の20分前には部屋も静まり、寝る準備ができていた。</p>	<p>1 先生方は学年主任を中心に皆一生懸命動いてくれた。</p> <p>2 先生方は連携がよく、協力してよく動いていた。</p> <p>3 先生の連携がとれていた。主担当の指示が的確でよく通っていた。</p> <p>4 若い先生が多かったがよく協力していた。</p> <p>5 若い先生の目が行き届かないところを、年配の先生がフォローするという感じだった。</p> <p>6 先生方がとても仲が良く意思の疎通ができていた。主担当は事務室によく連絡・報告に来た。</p> <p>7 先生方はうまく連携がとれて協力しあっていた。</p> <p>8 先生が大声を出すことはなかった。落ち着いて生活していた。</p> <p>9 2日目のハイキング帰りのバスを主担当がキャンセルしたはずだが、できていなかった。</p> <p>10 先生方は各分担の仕事をしっかりとこなし連携がとれていた。主担当の指示は分かりやすかった。</p>
学校全体	<p>1 生徒がとても素直だった。先生は食堂の入口と中で、麦茶を手際よく飲ませていた。</p> <p>2 2日目朝の電車の運休には落ち着いて対応していた。</p> <p>3 生徒は明るく元気だった。先生方も丁寧に指導していたと思う。</p> <p>4 自然教室に対する意欲が全体から感じられた。生徒は先生の話をよく聞いて動いていた。</p> <p>5 先生方の体制が別隊よりも良かったため、生徒の動きや意識もよかった。</p> <p>6 素直で落ち着いている生徒たちだった。先生方も協力し合い、生徒への指示もよく通っていた。</p> <p>7 先生方は落ち着いている様子で、生徒は素直でよく指示を聞いていた。校歌もよく歌っていた。</p> <p>8 挨拶行動共にしっかりとっていて、準備の手際が良かったため、活動に時間の余裕が持てた。</p> <p>9 生徒たちは入所式から態度がよく、規律正しかった。先生方の協力もよかった。</p> <p>10 生徒は素直でよく活動していた。先生の話も前向きに聞いていた。先生も丁寧に指導していた。</p> <p>11 人数が少ないこともあり、先生も生徒も静かだった。</p> <p>12 生徒は落ち着いて行動でき、先生の話もよく聞いていた。先生方はよく連携がとれていた。</p> <p>13 食事の片づけの際は、先生がよく指導してくれた。</p>

よかった

(1) 自然の家職員感想より (令和元年度)

生徒	先生
改善の余地あり	
56 生徒は指示どおりに行動できるが、自ら行動する意欲は感じられなかった。	1 生徒数が少なく、日程の消化もスムーズに進んだが、先生方はのんびりしている様子だった。
57 挨拶を返してくれる生徒が少なかった。3日間で成長を感じた。	2 先生方のまとまりがもう少しあるとよかった。
58 使用した清掃用具を元に戻さないことがあった。大掃除はよくできた。	3 やや準備不足も感じられたが、特に大きな問題はなかった。
59 生徒は先生の話をよく聞いて行動できるが、班長が皆をまとめたりする場面がなかった。	4 先生の怒鳴る声が目立った。事前の準備不足で思いつきで生徒を動かしているようだった。
60 清掃用具の扱いが悪かった。館内行動に落ち着きがなかった。挨拶はよくできていた。	5 協力的でない先生や空回りしている先生がいて、先生方の連携がとれていないようだった。
61 大掃除の際に、掃除場所に遅れてきた生徒がやる気がなかったように見えた。	6 主担当の先生は、3日目になるにつれてやる気を失っているようだった。
62 野外活動の際のルールを守ってない生徒が多かった。2日目の夜、消灯時刻が5分遅れた。	7 年配の先生との情報共有が難しそうだった。生徒は多種多様でまとめるのが大変そうだった。
63 挨拶が少なく、あまり活発な様子がない。大掃除では布団をよくたたんでくれた。	8 先生の説明が長く、「やり直し」が多すぎる。各活動で時間オーバー気味だった。
64 大掃除後にトイレを見たが、掃除をした様子があった。	9 しおりの記載と先生の指示が異なっていて、迷っている生徒がいた。
65 食事中など、全体的に落ち着きがないように感じた。	10 先生の指示がうまく伝わっていなかった。活動時間には余裕があった。
66 朝の清掃や退所前の大掃除の際には、集まりが悪く少人数で清掃しているところもあった。	11 実施直前まで自然教室の日程を間違えていた。書類の提出期限が過ぎて連絡がなかった。
67 生徒は部屋のはしごから飛び降りたり廊下を走ったりしていた。主体性が欠けているようだった。	12 生徒は緊張感や集中力が感じられず、挨拶も少なかった。
68 生徒は、丁寧に教えないと理解できない子が多いようだった。	13 先生方のまとまりが薄かったように感じた。大掃除の時は布団がきれいにたたんでいた。
69 おしゃべりが多く、人の話をきちんと聞いていないように見えた。布団の整理はよくできていた。	14 主担当の先生にお願いしたことができていなかった。体調不良者の情報についての報告がない。
70 生徒は緊張感や集中力が感じられず、挨拶も少なかった。	15 学年主任の先生が落ち着きがなく動き回っている。若い先生は何をしたらいかがかわかっていない。
71 食堂内の放送機器の注意書きを守らず、カバーが外されていたりするなどのいたづらがあった。	16 清掃時に先生が見当たらずやり直しに手間取った。先生方の意思の疎通が不足していた。
72 清掃を率先して行う人がいない。使用した雑巾やバケツが出しっぱなしで誰も片付けない。	17 主担当の先生の指示が分かりにくく、シーツの回収や清掃などの際の確認が適当だった。
73 生徒は行動にメリハリがない。主担当が誰なのかははっきりしない。	18 先生方の自然教室に対するやる気はあまり感じられなかった。
74 生徒は落ち着きがなく、いつも騒がしい感じだった。	
75 積極的に活動しようという感じはあまりなかった。食事はよく食べていた。	
76 時間にルーズだった印象がある。食事の片付けや先生の話の間など静かにできてなかった。	
77 落ち着きが足りない感じがした。	
78 精神的に不安を抱えている生徒が多かった。	
79 各活動でうわついている感じを受けた。麦茶を飲んだ後の片付けの状態が良くなかった。	
80 外国人が多く、言葉が通じない生徒がいるので先生の指示が行き届いていないような気もした。	
81 生徒のほとんどが短パンで避難訓練に臨んだり、食堂にしおりを持ち込んだりしていた。	
82 部屋のハンガーを脱衣室に持ち込み戻さなかった。班会議がきちんとなされていなかった。	
83 生徒は幼く、まとまりがない様子だった。日頃から規律ある生活ができていないと思った。	
84 清掃場所の人数配分が適切ではなかった。生徒の動きがのんびりしているようだった。	
85 生徒はおとなしく、あまり声を出さず、声をかけても返事が返ってこない生徒が多かった。	
86 廊下を走ったり、ルールを守れない生徒が多く、落ち着きがない印象だった。	
87 生徒は返事も挨拶もなく元気がなかった。次の動作に移るのが遅かった。	
88 各活動において、消極的で声が小さかった。集合や整列は日ごとによくなった。	
	学校全体
	1 生活態度は落ち着いていたが、退所式で先生方がきちんと並んでいなかった。
	2 生徒は落ち着いて先生の話をよく聞いて行動していたが、若い先生に覇気がなかった。
	3 提出書類がなかなか提出されなかった。生徒は落ち着いて行動できていた。
	4 先生方が頑張っている様子だった。生徒は夏休み中のせいとか少し緊張感がなかったようだった。
	5 静かな自然教室だった。体調不良者も出ず、落ち着いていた。勝手な行動をする先生がいた。
	6 先生の指示によっては、もう少しきばき動ける感じがした。
	7 生徒は落ち着いている印象で、先生方の動きもよかったが意思疎通できていなかった。
	8 「やり直し」が多く時間がかかり職員が待たされることも多かった。
	9 「やり直し」が多く生徒への指導に時間がかかり、食事の準備が遅れることがあった。
	10 生徒も先生も乱雑な雰囲気だった。先生はもう少し丁寧に作業終了後の確認をしてほしかった。
	11 生徒は騒がしく、教員がいつも大声で注意をしていた。生徒は人の話をしっかり聞いていない。
	12 生徒はだらしく、「やらない」「だらしない」生徒がいても注意をしない先生が多かった。
	13 全体的に騒がしく、先生に注意されてもなかなか静かにならず、落ち着きのない印象。

(2) 校外教育実施時のイレギュラー対応 (令和元年度)

1 帰宅	1 件 (生徒対応)
2 不適応→帰宅	1 件 (生徒対応)
3 体調不良→帰宅	5 件 (生徒対応)
4 体調不良→搬送→帰宅	1 件 (生徒対応)
5 発熱→帰宅	1 件 (生徒対応)
6 発熱→受診→帰宅	2 件 (生徒対応)
7 発熱→搬送→帰宅	1 件 (生徒対応)
8 負傷→搬送→応急処置	1 件 (生徒対応)
9 途中参加	1 件 (生徒対応)
10 天候悪化→予定切り上げ	2 件 (活動変更)
11 天候悪化→予定変更	1 件 (活動変更)
12 電車運休→目的地変更	1 件 (活動変更)
13 食事→異物混入	1 件 (施設関係)
14 視察対応	4 件 (教員対応)
15 無断立ち入り対応	1 件 (教員対応)
16 バス配車トラブル	1 件 (教員対応)
延べ	25 件

11 他市における類似施設の現況、校外学習の実施状況

		さいたま市	川越市	越谷市	船橋市
施設名	館岩少年自然の家			※令和3年4月1日付けで施設廃止 (越谷市立あだたら高原少年自然の家)	一宮少年自然の家
場所	福島県南会津郡南会津町				千葉県一宮市
施設竣工年月	昭和56年(平成30年増築)				昭和56年4月
収容人員	560名(増築部分200名)				200名
実施期間	通年				5月-11月
校外学習対象	小学5年、中学2年				小学5年生
施設に係る歳出 決算額	平成30年度	427,573,288円			85,238,928円
	令和元年度	256,345,876円			54,309,234円
	令和2年度(予定)	169,490,009円			285,041,844円
上記のうち大規模 修繕・工事額	平成30年度				15,229,080円
	令和元年度				1,042,800円
	令和2年度(予定)				244,942,500円
参加児童・生徒 数	平成30年度	21,231人			約5000人
	令和元年度	19,147人			約5000人
	令和2年度	20人			宿泊学習一律中止

校外学習実施施設が無い場合の実施方法	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
校外学習の実施方法について			その他	その他	その他	その他		
予算を分配している場合、その分配方法								
1校あたりの平均分配額								
具体的な実施方法			自校で交通手段・宿等を手配している。	自校で交通手段・宿等を手配している。	旅行会社に委託等している。	旅行会社に委託等している。		
その他、校外学習実施施設が無い場合の実施方法についての内容			自校で企画・実施している。	自校で企画・実施している。	小学校5年時に林間学校を実施している。旅費は保護者負担。	中学校1年時にスキー教室を実施している。旅費は保護者負担だが、バス代は市・教育委員会が負担。		

上記以外で校外学習の実施の方法				
-----------------	--	--	--	--

		八王子市	横須賀市	藤市	戸田市
施設名		八王子市姫木平自然の家		藤市立信濃わらび山荘	
場所		長野県小県郡長和町		長野県南佐久郡川上村	
施設竣工年月		昭和51年6月30日		昭和62年7月15日	
収容人員		186名		計100名(コテージ含む)	
実施期間		5～3月		4月～11月(開設期間中)	
校外学習対象		小学5年生・義務教育学校5年生・中学1年生		小学5年生(学年人数により受入れ不可あり)	
施設に係る歳出決算額	平成30年度	46,633,945円		22,650,433円	
	令和元年度	48,617,913円		22,494,627円	
	令和2年度(予定)	48,609,199円		17,798,708円	
上記のうち大規模修繕・工事額	平成30年度	0円		なし	
	令和元年度	0円		なし	
	令和2年度(予定)	0円		なし	
参加児童・生徒数	平成30年度	6,603名		延べ640人	
	令和元年度	5,891名		延べ684人	
	令和2年度	3,514名		なし	

校外学習実施施設が無い場合の実施方法	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
校外学習の実施方法について			その他	その他			その他	その他
予算を分配している場合、その分配方法								
1校あたりの平均分配額								
具体的な実施方法			自校で交通手段・宿等を手配している。	自校で交通手段・宿等を手配している。			その他	自校で交通手段・宿等を手配している。
その他、校外学習実施施設が無い場合の実施方法についての内容			保護者負担で自校で実施している。	保護者負担で自校で実施している。			全校で国立赤城青少年交流の家を予約した。バスの手配等は各校で行っている。	中1でスキー林間学校を実施している。場所は菅平高原で宿は各校で予約している。宿泊補助として1泊6500円を市で補助している。

上記以外で校外学習の実施の方法	校外学習実施施設は学校が選択しており、市の施設以外を宿泊先として選択する場合がある。						実施については検討中です。校外学習の実施回数は昨年度と同じ、各学年1回とています(校長会で決定しました)上記の場所は今年度からの実施なので、市で一律して中止にするかどうか検討中です。
-----------------	--	--	--	--	--	--	---

		草加市	川口市	
施設名		奥日光 自然の家	大貫海浜学園	水上少年自然の家
場所		栃木県日光市	千葉県富津市	群馬県利根郡みなかみ町
施設竣工年月		昭和39年9月（西館、厨房食堂棟）	昭和58年3月	平成5年3月
収容人員		435名（全棟合計）	300名	275名
実施期間		7～9月	5～11月	5～10月
校外学習対象		小学5年、中学2年	小学5年生	中学2年生
施設に係る歳出 決算額	平成30年度	81,405,000円	84,224,650円	209,528,357円
	令和元年度	71,940,000円	103,738,495円	235,526,570円
	令和2年度(予定)		83,618,610円	147,207,235円
上記のうち大規模 修繕・工事額	平成30年度	15,434,000円	0円	27,648,000円
	令和元年度	14,830,000円	7,451,400円	40,047,700円
	令和2年度(予定)		21,707,400円	22,159,500円
参加児童・生徒 数	平成30年度	不明	4,922名	4,457名
	令和元年度	4,083名	4,965名	4,278名
	令和2年度	0名	0名	0名

校外学習実施施設が無い場合の実施方法	小学校	中学校	小学校	中学校
校外学習の実施方法について				
予算を分配している場合、その分配方法				
1校あたりの平均分配額				
具体的な実施方法				
その他、校外学習実施施設が無い場合の実施方法についての内容				

上記以外で校外学習の実施の方法		
-----------------	--	--